

競 技 注 意 事 項

2026 名古屋地区中学新人陸上競技選手権大会

1 本大会は2026年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施する。

2 アスリートビブスについて

- (1)ユニホームの胸、背に確実につける。
- (2)走高跳、棒高跳は胸または背につけるだけでよい。
- (3)走幅跳は胸だけでもよい。
- (4)トラック競技の800m以上の種目に出場する競技者には、写真判定用の「腰ナンバー標識」を配付する。ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさで明確に数字が読めるようにつける。(100mから400mまでは腰ナンバー標識は付けない)
- (5)腰ナンバー標識をフィニッシュ後、直ちに係員に返却する。

3 ウォーミングアップについて（入場は競技者のみ）

- (1)ウォーミングアップとして
バックストレートを競技会の支障のない範囲で使用できる。また、競技場東側の多目的広場も使用できる。(多目的広場はスパイクでの使用は禁止とする)
- (2)投てき種目、跳躍種目は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。
- (3)ハードルの練習は競技時間の15分前までホームストレートの7～9レーンに男子ハードル(各3台)、バックストレートの6～8レーンに女子ハードル(各3台)に設置する。
- (4)リレーのウォーミングアップにおいて靴やバトンをマークとして使用しない。
また、競技に支障のない範囲で、第2・第3コーナーの5～8レーンをバトンパスの練習として使用できる。

4 招集について

- (1)招集所は、全種目第1コーナー（器具庫内）の一か所に設ける。
- (2)招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなす。
- (3)招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	40分前	20分前
フィールド競技	50分前	30分前

- (4)リレーのオーダー用紙は、1組の招集完了時刻の60分前までに招集所に提出すること。オーダー用紙は招集所に準備してあるものを使用する。

5 競技場への入退場について

- (1)選手の入場については、競技場内混雑による接触事故防止のため、以下の条件を設ける。
 - ① 入場は競技役員の指示に従い行うこと。
 - ② 選手は東側出入り口（1500mスタート付近）により入場することができる。
 - ③ 両日とも競技場入場時間の制限は設けない。
 - ④ バックスタンドの一部は選手または競技役員が使用する。
 - ⑤ 芝生スタンドへの入場は、選手・指導者・監督に限る。
- (2)競技場内の保護者の入場は認めない。競技者以外はスタンドを使用する。

6 レーン順・試技順について

トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。

7 競技について

- (1)トラック競技について（すべてタイムレース）
 - ①すべて写真判定装置を使用する。
 - ②本大会のスタート動作における競技規則については、国内ルールを適用する。
 - ③短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走行して止まる。

(2)フィールド競技について（長さを競う種目はトップ8を行う。）

①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。

②フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できる。

③棒高跳及び投てき種目の滑り止め（炭酸マグネシウム）は個人のものを使用してもよい。その他の滑り止めの使用は認めない。

(3)競技者は、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことは禁止する。

（競技規則 TR6参照）

9 走高跳・棒高跳のバーの上げ方（ただし、天候等の状況により変更することがある。）

跳 躍 競 技		練習	1	2	3	4	5	
男 子	2年走高跳	フリー	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	以後5cm、1m70以後3cm
	1年走高跳	フリー	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	以後5cm、1m70以後3cm
	棒高跳	フリー	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	以後10cm
女 子	2年走高跳	フリー	1m20	1m25	1m30	1m35	1m38	以後3cm
	1年走高跳	フリー	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	以後5cm、1m35以後3cm
	棒高跳	フリー	1m80	1m90	2m00	2m10	2m20	以後10cm

※練習の高さについては当日設定する。 ※競技者の状況により変更する場合がある。

10 競技用器具について

競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものを使用する。

11 競技用靴について（競技規則 TR5参照）

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・ジャベリックスローは12mm以内とする。スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。

12 表彰について

各種目の1～8位は表彰状を授与する。表彰状は、各所属の代表者が競技会終了までに1階入り口まで取りに行く。

13 その他

(1)氏名・所属・ナンバー等の間違い、訂正があれば本部に申し出ること。

(2)競技場に商品名のついた衣類・バッグを持ち込む場合は、競技規則に準ずる。

(3)更衣室は更衣のみに使用し、シャワーの使用は禁止とする。また荷物は置かないようにする。更衣後の荷物は各自で管理する。

(4)貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。盗難に注意すること。

(5)応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。

(6)カメラ、ビデオ等の撮影は、出場の団体、学校関係者に限る。

各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。各団体、各自で責任をもって行い、環境美化に努め他人に迷惑をかけないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。